

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動向をみると、公共投資は持ち直しているほか、設備投資は増加している。また、個人消費は、一部に弱めの動きもみられるが、底堅く推移しており、住宅投資は基調としては増加している。

生産は一進一退の動きとなっている。雇用・所得環境は改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は保合いとなっている。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資 …… 持ち直し

10月の公共工事請負金額は、市町村、独立行政法人等の発注は減少したものの、国、県が増加したため、全体では3か月連続で前年を上回った（前年比+4.3%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2016年 1~3月	4~6	7~9	2016年 8月	9	10
山形県	▲44.6	+12.1	+8.0	+49.2	+33.4	+4.3

〈資料〉 東日本建設業保証(株)等の「公共工事前払金保証統計」より作成

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資 …… 増加

9月の建築着工床面積（民間非居住用）は、医療・福祉、教育・学習支援などは増加したものの、製造業、卸・小売などが減少したため、全体では9か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲57.9%）。9月短観における2016年度の設備投資計画（全産業）は、非製造業を中心に上方修正された（前年度比+35.9%〈前回調査比修正率+7.4%〉）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2016年 1~3月	4~6	7~9	2016年 7月	8	9
山形県	+66.0	+86.8	▲8.5	+3.0倍	+1.8	▲57.9

〈資料〉国土交通省「建築物着工統計」より作成

(図表3) 県内企業の設備投資額（2016年9月山形短観） 前年度比、%

山形県	2014年度（実績）	2015年度（実績）	2016年度（計画）
全産業	+19.7	▲9.8	+35.9<+7.4>
製造業	+37.0	▲22.3	+48.3<+2.3>
非製造業	▲2.0	+12.1	+20.7<+16.1>

〈資料〉日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・一部に弱めの動きもみられるが、底堅く推移

9月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、飲食料品などが前年を上回ったことから、全体では4か月連続で前年の水準を上回った（前年比+0.9%）。

家電販売は、パソコン関連が減少しているものの、テレビなどが増加していることから、おおむね横ばいとなっている。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2016年 1～3月	4～6	7～9	2016年 7月	8	9
全店	+1.6	+0.2	+1.9	+4.2	+0.7	+0.8
既存店	+1.2	+0.3	+1.9	+4.4	+0.7	+0.9

<資料>経済産業省

10月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、2か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比+1.1%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2016年 1～3月	4～6	7～9	2016年 8月	9	10
乗用車 (含む軽)	▲7.4	+1.2	+0.8	+8.7	▲2.0	+1.1
乗用車 (除く軽)	▲3.5	+15.0	+3.6	+10.3	+2.8	▲1.4

<資料>東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

(4) 住宅投資・・・基調としては増加

9月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲の何れも減少したため、全体では2か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲7.6%）。地域別には、鶴岡、新庄などは増加したものの、山形、天童などは減少した。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2016年 1～3月末	4～6	7～9	2016年 7月	8	9
山形県	+6.0	▲6.1	▲7.6	+26.8	▲1.8	▲7.6
持家	▲25.9	▲9.2	▲6.7	+20.4	+4.3	▲6.7
貸家	+2.2倍	+34.1	▲8.1	+23.6	▲12.3	▲8.1
分譲	+88.0	▲45.7	▲11.8	+2.0倍	+7.1	▲11.8

着工戸数の多い市：山形市▲53.2%、鶴岡市2.4倍、新庄市3.1倍、東根市2.6倍、寒河江市7.0倍

<資料>国土交通省「住宅着工統計」より作成

3. 生産・・・一進一退

8月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、3か月ぶりに上昇した（前月比+6.4%）。業種別には、食料品、家具など7業種は低下したものの、電子部品・デバイス、情報通信機械など15業種は上昇した。

8月の在庫指数（季節調整済）は、2か月連続で上昇した（前月比+1.9%）。

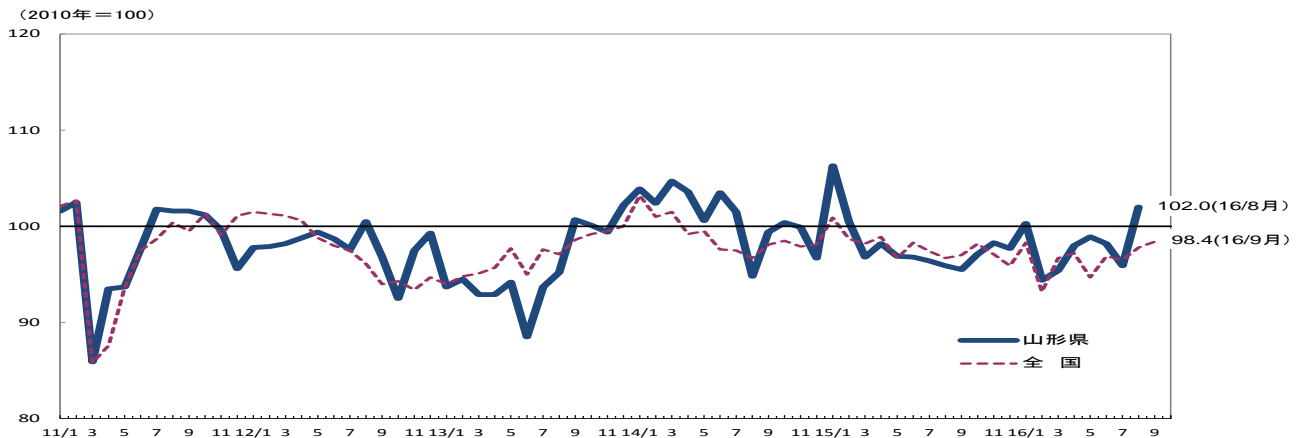
（図表7）鉱工業指数

2010年基準

山形県		2015年 10～12月	2016年 1～3	4～6	2016年 6月	7	8
生 産	季節調整済前月・期比%	+1.9	▲1.0	+1.8	▲0.7	▲2.3	p +6.4
	原指数前年比%	▲1.4	▲3.6	+0.7	+0.5	▲2.5	p +7.6
在 庫	季節調整済前月・期比%	+0.9	▲0.3	▲4.0	▲2.8	+3.1	p +1.9
	原指数前年比%	+1.9	+3.2	▲0.8	▲3.3	▲1.2	p +0.2

＜資料＞山形県企画振興部「山形県鉱工業指数」より作成

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



＜資料＞経済産業省「鉱工業指数」、山形県企画振興部「山形県鉱工業指数」より作成

4. 雇用・所得環境・・・改善

9月の有効求人倍率は、1.30倍となった。業種別には、サービス、卸・小売の新規求人は減少したものの、医療・福祉、建設などは増加した。9月の雇用保険受給者は、5か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲6.6%）。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、<>内は前年比

山形県	2016年 1～3月	4～6	7～9	2016年 7月	8	9
有効求人倍率	1.24	1.33	1.29	1.30	1.29	1.30
有効求職者数	<▲3.1>	<▲6.0>	<▲6.2>	<▲8.3>	<▲7.3>	<▲6.2>
有効求人数	<+3.7>	<+1.0>	<+2.6>	<▲1.3>	<▲0.0>	<+2.6>
完全失業率	3.0	2.8	n. a.	—	—	—
雇用保険受給者	<▲2.3>	<▲5.6>	<▲6.6>	<▲10.9>	<▲2.6>	<▲6.6>

＜資料＞厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）有効求職者数、有効求人数、雇用保険受給者の四半期データは、各四半期末の水準。

8月の常用雇用指数は、前年並みの水準となった（前年比0.0%）。業種別には、医療・福祉、運輸などは前年の水準を上回ったものの、建設、生活関連サービスなどは前年の水準を下回った。

8月の所定外労働時間は、2か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲5.0%）。業種別には、情報通信、建設などは前年の水準を上回ったものの、卸・小売、教育・学習支援などは前年の水準を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2010年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2015年 10~12月末	2016年 1~3	4~6	2016年 6月	7	8
常用雇用指数	+1.9	+0.5	▲0.2	▲0.2	▲0.4	0.0
所定外労働時間	▲3.5	+1.9	+3.9	+3.9	▲1.0	▲5.0

<資料>山形県企画振興部

8月の現金給与総額（名目賃金指数）は、医療・福祉、運輸などは減少したものの、製造業、教育・学習支援などは増加したため、2か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比+1.3%）。

8月のきまって支給する給与は、14か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲1.1%）。

(図表 11) 所得関係指標 2010年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2015年 10~12月末	2016年 1~3	4~6	2016年 6月	7	8
現金給与総額 (名目賃金指数)	▲5.5	+0.2	+0.7	+0.7	▲0.9	+1.3
きまって支給 する給与	▲3.3	▲0.4	▲1.6	▲1.6	▲1.4	▲1.1

<資料>山形県企画振興部

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

10月の企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数（6件）では前年（4件）を上回ったものの、負債総額（3.6億円）では前年（15.4億円）を下回った。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2016年 1~3月	4~6	7~9	2016年 8月	9	10
件数	17	14	12	5	5	6
負債総額	27.4	26.6	22.7	4.3	16.9	3.6

<資料>(株)東京商エリサーチ山形支店「山形県企業倒産状況」より作成

6. 物価・・・保合い

9月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、低下した(前年比▲0.6%)。費目の内訳をみると、生鮮食品を除く食料、住居などは上昇したものの、光熱・水道、交通・通信などは下落した。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2016年 1～3月末	4～6	7～9	2016年 7月	8	9
総合	▲0.5	▲0.6	▲0.6	▲0.4	▲0.6	▲0.6
生鮮食品を除く総合	▲0.6	▲0.5	▲0.6	▲0.6	▲0.5	▲0.6

<資料>山形県企画振興部

7. 金融

9月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金を中心に前年の水準を上回った(前年比+1.0%)。

9月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移したほか、企業向けも増加したため、全体では前年の水準を上回った(前年比+3.7%)。

この間、8月の貸出金利は低下した(前月比▲0.006%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出、貸出約定平均金利

%, %ポイント

山形県	2016年 1～3月	4～6	7～9	2016年 7月	8	9
実質預金+CD (末残前年比)	+1.3	+1.2	+1.0	+1.4	+0.9	+1.0
貸出 (末残前年比)	+3.6	+3.6	+3.7	+3.6	+3.3	+3.7
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.028	▲0.038	n. a.	▲0.005	▲0.006	n. a.

8月末水準
1.121

<資料> 日本銀行山形事務所<対象等は(参考)山形県内主要金融経済指標注記<7 頁>参照>

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
日本銀行山形事務所
TEL : 023-622-4004